

令和 8 年度

伊方原子力発電所
温排水影響調査計画

概要

愛媛県

I 調査の概要（愛媛県実施分）

本文p. 1

○調査の目的

伊方原子力発電所の建設に伴い、同発電所の冷却用温排水が付近の漁場に与える影響の有無を判断するため、隣接する海域の環境及び漁業の実態を把握する。

○調査期間

令和8年4月～令和9年3月

II 令和8年度調査計画（愛媛県実施分）

本文p. 2

※調査測点は本文p. 3～4

項目		頻度	備考
1	水質調査	年4回	pH、COD、塩分、透明度
2	水温調査	年4回	
3	流動調査	年2回	流向、流速
4	プランクトン調査	年4回	沈殿量、動植物の割合
5	付着動植物調査	年4回	種類、量
6	漁業実態調査	周年※	漁獲量、出漁状況
7	拡散調査	年2回	温度分布

※八幡浜漁協3支所（町見、瀬戸、有寿来）に調査依頼

I 調査の概要（四国電力実施分）

本文p. 5

○調査の目的

水温、水質、生物等について調査を行い、伊方原子力発電所前面海域の環境の動向を把握する。

○調査期間

令和8年4月～令和9年3月

II 令和8年度調査計画（四国電力実施分）

本文p. 6～10

※調査測点は本文p. 12～26

項目		頻度	備考	
1	水温水平分布調査	年4回		
2	水温鉛直分布調査	年4回		
3	塩分分布調査	年4回		
4	流動調査	年4回	流向、流速	
5	水質調査	年4回	pH、塩分、COD、透明度他	
6	底質調査	年4回	pH、強熱減量、全硫化物他	
7	プランクトン調査	年4回	カコフィル、種類、個体数、沈殿量	
8	魚卵・稚仔魚調査	年4回	種類、個体数	
9	底生生物調査	年4回	種類、湿重量、個体数	
10	潮間帯生物調査	年4回	種類、湿重量、被度	
11	海藻調査	年4回	種類、湿重量、被度	
12	藻場分布調査	年2回	分布状況	
13	魚類調査	潜水目視調査	年4回	出現状況
		磯建網による捕獲	年4回	種類、個体数
14	取り込み影響調査	動・植物プランクトン	年2回	種類、量、生存率、活性
		卵・稚仔	年4回	種類、量

マルチネット目合変更について

(四国電力：8 魚卵・稚仔魚調査 / 14 取り込み影響調査関連)

これまで調査に使用してきたマルチネットは製造中止により現行品の入手が困難となるため、後継品に変更した上で、同調査を継続して実施する。

【現行品】網目 1 辺の長さ：0.328mm

【後継品】網目 1 辺の長さ：0.335mm

令和7年度に実施した追加調査において、現行品と後継品による魚卵採集物（量及び種類等）を比較し、大きな差異が認められなかったことから令和8年度調査からは後継品を使用。

《並行調査の概要》

I. 前面海域調査

方法：前面海域の1調査点で現行品及び後継品それぞれ3回曳網
春季・夏季・秋季の3回実施（合計18回曳網）

結果：①現行品と後継品の魚卵採集量は同程度であった。

②現行品と後継品の採集物組成は類似していた。

II. 実験室調査

方法：マルチネットを設置した試験用水槽内に一定数の魚卵を投入
現行品・後継品を用いて5回ずつ実施し、採集個数を計数

結果：現行品と後継品の魚卵採集数は同程度であった。